

# 国民健康保険データヘルス計画の評価を公表します

平成 27 年度に策定した伊達市保健事業実施計画（データヘルス計画）の計画期間が平成 29 年度で終了するため、計画で掲げた目標の達成状況を分析・評価しました。なお、第 2 期データヘルス計画は平成 30 年 3 月に公表します。  
 ※国民健康保険は以下、「国保」と表記します。

☎ 国保年金課給付係 ☎ 575-1198

## データヘルス計画とは？

市町村国保や健康保険組合などの医療保険者が持っている健康・医療情報（診療・医療費・健診データなど）を活用して、効果的で効率的な保健事業を実施するための計画です。

## データヘルス計画の目的は？

健康・医療情報を活用した保健事業を実施し、生活習慣病を予防することで、加入者の健康格差を縮小することや、健康寿命を延ばすことを目的としています。

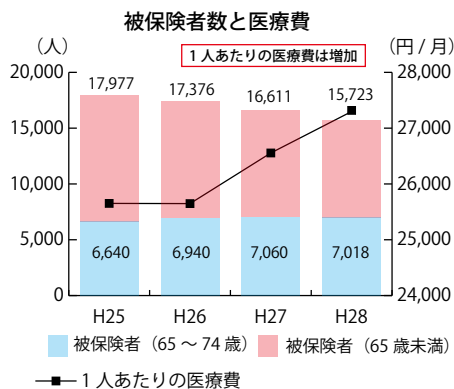
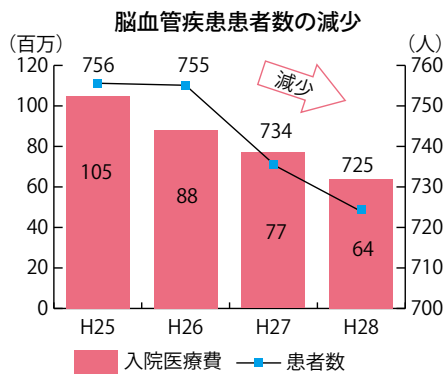
## 伊達市国保の健康課題

- ◇第 1 期計画策定の基礎とした平成 25 年度データの分析から、伊達市国保では「脳血管疾患」「虚血性心疾患」の患者数、医療費の割合が高いことが分かりました。
- ◇これらは死亡率が高いだけでなく、医療費が高額で、要介護認定の原因となります。そのため、市ではこれらの病気の発病と重症化を予防するために、特定健診、特定保健指導などの保健事業を実施してきました。

## 目標の達成状況

### ◇中・長期目標（平成 27～29 年度）

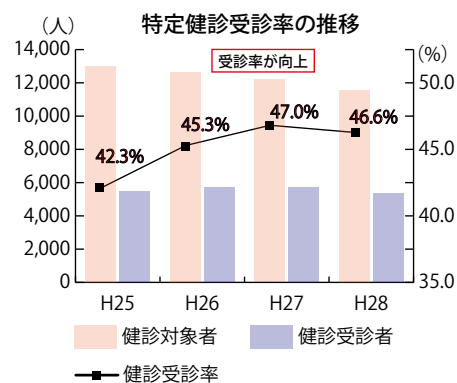
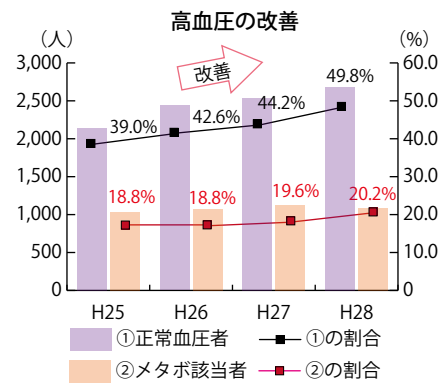
「脳血管疾患」「虚血性心疾患」「糖尿病性腎症」の患者数の減少



被保険者の減少と高齢化で 1 人あたりの医療費は増加しているものの、脳血管疾患などの入院医療費、患者数を減少させることができました。

### ◇短期目標（平成 27、28 年度）

「高血圧」「メタボリックシンドローム」の減少



血圧の数値は改善されているものの、メタボ該当者は増加しています。健診受診率の向上でリスクを発見できたともいえるため、今後も継続して保健事業を実施していきます。